

藤沢市職員の降給に関する条例の制定について
藤沢市職員の降給に関する条例を次のように定める。

2016年(平成28年)2月26日提出

藤沢市長

鈴木恒夫

藤沢市職員の降給に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方公務員法(昭和25年法律第261号)第27条第2項及び第28条第3項の規定に基づき、職員(藤沢市一般職員の給与に関する条例(昭和26年藤沢市条例第6号)第3条第1項各号に定める給料表(以下「給料表」という。))のうちいずれかの給料表の適用を受ける者をいう。以下同じ。)の意に反する降給に関し必要な事項について定めるものとする。

(降給の種類)

第2条 降給の種類は、降格(職員の意に反して、当該職員の職務の級を同一の給料表の下位の職務の級に変更することをいう。以下同じ。)及び降号(職員の意に反して、当該職員の号給を同一の職務の級の下位の号給に変更することをいう。以下同じ。)とする。

(降格の事由)

第3条 任命権者は、職員が、降任された場合のほか、次の各号のいずれかに掲げる事由に該当する場合において、必要があると認めるときは、当該職員を降格するものとする。この場合において、第2号の規定によりいずれの職員を降格するかは、任命権者が、勤務成績、勤務年数その他の事実に基づき、公正に判断して決定するものとする。

(1) 次に掲げる事由のいずれかに該当する場合(職員が降任された場合を除く。)

ア 職員の人事評価における能力評価又は業績評価の結果が規則で定める段階（次条において「下位の段階」という。）である場合その他勤務の状況を示す事実に基づき勤務実績がよくないと認められる場合において，指導その他の規則で定める措置（以下「指導等」という。）を行ったにもかかわらず，なお勤務実績がよくない状態が改善されないときであって，当該職員がその職務の級に分類されている職務を遂行することが困難であると認められるとき。

イ 任命権者が指定する医師2人によって，心身の故障があると診断され，その故障のため職務の遂行に支障があり，又はこれに堪えないことが明らかなる場合

ウ 職員がその職務の級に分類されている職務を遂行することについての適格性を判断するに足りると認められる事実に基づき，当該適格性を欠くと認められる場合において，指導等を行ったにもかかわらず，当該適格性を欠く状態がなお改善されないとき（ア及びイに掲げる場合を除く。）。

(2) 職制若しくは定数の改廃又は予算の減少により職員の属する職務の級の職の数に不足が生じた場合

（降号の事由）

第4条 任命権者は，職員の人事評価における能力評価又は業績評価の結果が下位の段階である場合その他勤務の状況を示す事実に基づき勤務実績がよくないと認められる場合であり，かつ，その職務の級に分類されている職務を遂行することが可能であると認められる場合であって，指導等を行ったにもかかわらず，なお勤務実績がよくない状態が改善されない場合において，必要があると認めるときは，当該職員を降号するものとする。

（通知書の交付）

第5条 任命権者は，職員を降給する場合には，その旨を記載した書面を当該職員に交付して行わなければならない。

（受診命令に従う義務）

第6条 職員は，第3条第1号イに掲げる事由に該当するかどうかを判断するための医師による診断を受けるよう命ぜられた場合には，これに従わなければならない。

(委任)

第7条 この条例の実施に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

提案理由

この条例を提出したのは、地方公務員法が改正されたことに伴い、分限のうちの降給に関し必要な事項を定める必要による。